

# 「JPEX来秋にも解散」報道

## 現場労働者の闘いの勝利だ!

### 西川体制とJPEX計画に協力したJP労組中央は退陣せよ

民営郵政の「戦略事業」と銘打ったさまざまな労働強化・大合理化計画だったJPEX事業の完全破綻が確定しました。「日本郵便事業会社は『来年9月にもJPEXを解散・清算する方針』を固めた」(12・11東京新聞、左に掲載)と報道されました。09年4月から9月の半年で「248億円の損失。数カ月内に資本不足に陥る恐れ」(東京新聞)、「顧客流出が加速」(日本経済新聞)と、事実上の倒産です。現場の猛反対を押し切って強行した西川前社長ら旧経営陣と、JPEX計画を全面的に承認し、経営側を支えたJP労組本部の責任は重大です。

要員問題の破綻を理由に事業認可を却下しました。全国の現場労働者が圧倒的に出向を拒否したのです。東京A局では、本部派執行部が裏切る中、「労働組合は労働強化に反対するのが当たり前だ。組合が団結すれば阻止できる」



「潰れるような会社に行かせるな」と職場集会を開かせ、正規職も非正規職も職場全体が「出向拒否」の意志を表明しました。また、度重なる人事交流で強制配転を受けたきた仲間が課長の肩たたきに合った。寝る間も惜しんで働いてきた仲間は、悩んだあげく「俺は会社に必要ない人間なのか。強制出向攻撃を受ける今後の仲間のためにも闘う」と、課長と組合執行部に出向拒否の意志をたたきつけました。職場の仲間も一緒に闘いました。「俺たちの闘いがJPEXの大合理化攻撃を粉碎した」のです。

#### 労働者の「出向拒否」が正しかった!

JPEX計画は、郵便事業会社から1万人近い出向者を出す計画でした。中味は悪名高いSD(サービスマンドライバー)。配達員が「自己責任」で営業を兼ねる)を中心に、8割の社員を非正規職に置き換え、労働時間は青天井、病気休暇も身分保障もなしの半年〜1年契約という労働強化の極致でした。

この要員計画が「6割しか確保できなかった」(JP労組新聞・9月)のです。総務省も

JPEXの破綻で証明されたのは「郵政民営化」がそもそも間違っていたということ。公益事業である郵便事業を金儲けのビジネス

#### 「民営化絶対反対」が労働者の利益!

### JPEX来秋にも解散

郵便事業会社 子会社化を撤回  
当初は「たんに日通を、同じこれらの計画...」

#### 東京新聞(12月11日夕刊)

日本郵政グループの吸収して解散・清算する郵便事業会社は... 郵便事業会社は... 日通との合併... 約千八百人の日通... スプレッド(JPEX... 人を引き取る... 取する方針に転換す

#### JPEX解散計画の骨子

- ①郵便事業会社の合併宅配便会社JPEXは解散
- ②有益な要員、資産のみ引き継ぐ
- ③高コストの航空便は削減、日通の出向社員約2600人中、引き受けるのは約1200人
- ④全国32カ所のトラックターミナルは23に削減、ITシステムは使用継続
- ⑤実施時期は2010年9月または10月

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

JPPEXは「ゆうパック」と「ペリカン」便事業を統合する事... 業務だったが、二〇〇九年九月中間決算で、純利益が三億四千八百円に削減を図る。一方、日通の赤字を計上する... 通のノウハウを生かし... 整備した決意経営... ステム(TTシステム)は継承する... 来年一月末ごろまで... 郵政部長は「性急に... 進められたプロセス... 下で理解を苦しむ」な... どを批判。早急な対応... 策を打ち出す姿勢を示... していた。

全国労組交流センター 全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5階  
Tel 03(3845)7461 Fax 03(3845)7463  
URL: http://www.k-center.org E-mail: centergo@nifty.com

2009年 12月14日 発行

(ピラの感想や職場状況など、またピラに載せてほしいことなどを、気軽にお寄せください。電話・メールどちらでも結構です。)

# JR資本、警察・検察、国労本部を相手にまわし 国鉄労働運動の正義が大勝利!



11・27報告集会で登壇した被告・弁護団

## 『暴処法』無罪!

歴史的な勝利が切り開かれました。11月27日に開かれた国労5・27臨大闘争弾圧裁判の判決公判において、暴処法（暴力行為等処罰に関する法律）は成立しない、共謀にもあたらない、とする画期的判決がかちとられました。この弾圧裁判は、労働組合がいかに闘うべきか労働者はいかに生きるべきかを示しています。

国鉄分割・民営化による1047名の解雇強行にたいする解雇撤回闘争は多くの産別に広がり、労働運動の最大課題として闘われてきました。ところが2000年に自民党を中心とする4党合意で「国鉄問題の政治解決」と称して全面屈服し「JRに法的責任なし」を国労に認めさせようとなりました。なんと国労本部はこれを受け入れようと、闘いを続けようとする闘争団に対しては除名処分まで強行しようとした。

この本部の裏切りに怒った国労組合員が執行部への抗議行動を行いました。

執行部はこの組合員の抗議行動に対して、警察に被害届を出して逮捕となつたのです。警察は戦前以来の治安法である暴処法を持ち出し、懲役1年と1年半を求刑するという大弾圧でした。

## 一切の屈服拒否し全面対決

7名の被告は取り調べでも、法廷の検察官質問でも、完全黙秘で徹底対決

を費やしました。労働者としての誇り、分割・民営化への怒り、今日の労働運動の情けない現状をひっくり返してやるといふ熱意を法廷の内外で訴えて闘いぬぎました。

その結果、権力をたてにストーリーをでっち上げてきた国労本部・警察・検察の不正義は見事に打ち砕かれ、暴処法をうち破る判決を勝ちとったので

す。「闘っても勝てない」は真つ赤なウソ、本部の自己保身、たんなる負け犬根性ではありません。逆に団結して闘えば労働者は必ず勝利できることを示しました。ここに労働運動の原点と原則があります。本部が闘わないならば、現場から本部にたいする反乱を巻き起こせばいい。誇りをもって闘いましょう。

# 年収2500万円、ふぎけるな!

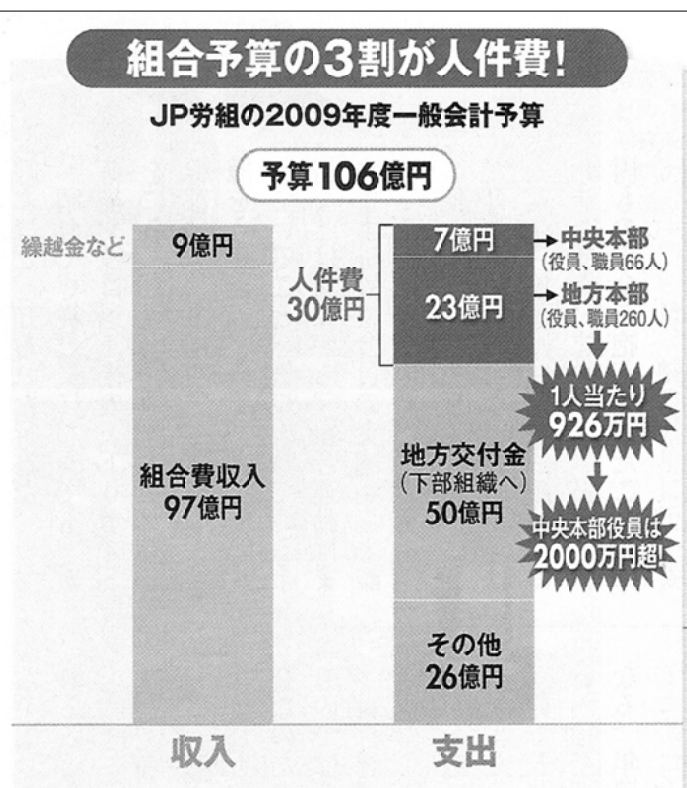
『週刊ダイヤモンド』12月5日号「民主党最大のアキレス腱・労働組合の腐敗」でJP労組幹部の腐敗が暴かれています。以下、引用します。

## 週刊ダイヤモンド掲載 労働貴族の呆れた美態

「左のグラフは、JP労組の09年度一般会計予算を簡略化したものだ。組合支出の3割、約30億円が専従役員らの人件費に充てられる。

役員・職員一人当たりの人件費は年間926万円。これだけでもさうとうに高いが、「専従役員と給与の低い書記の人件費をまとめて計上すること、専従役員の高額の待遇を隠している（JP労組関係者）。本誌は合併前の旧JPUの06年度の予算案を入手した。そこには専従役員と書記、非常勤職員（アルバイト）に分けた人件費の明細が示されている。

このペーパーによると、中央本部の執行（専従）役員の人件費は16人で4億円。つまり、単純平均では一人2500万円だ。三役になれば、これより確実に高い。事務次官以上の待遇である。地方本部の執行（専従）役員でも一人当たり1100万円と恵まれている。：（中略）：JP「週刊ダイヤモンド」は労働組合批判の目的で編集



民営化後の郵政職場は要員削減などで労働密度が「誇張なしに3倍」になった。ほとんどの職場で違法な「自爆営業」や時間外のただ働きが強調されている。半年単位でいっ首を切られるか分からない非正規雇用（彼らの7割が年収200万円以下だ!）が、すでに職場の6割にも達する。深夜勤の連続による健康破壊は限度を超え、過労死が多発する職場が増えているのだ! 組合員の生き血を吸っているJP労組幹部を打倒して、現場の手に組合を取り戻そう。

## 腐ったJP労組幹部を打倒して現場労働者の手に組合をとり戻そう!

「では、こうした「労働貴族」が郵政当局と一体となって進めている郵政民営化は、私たちをいかなる現実に向き込んでいるのか。」

されているもので、編集意図は断じて認められません。しかし、暴露されている内容は大きな問題です。